

ひろい心 通信

学校教育目標 主体 協働 追究

～小野江の「つよく やさしく ひろい心」が育ち合う～

6月1日に、令和4年度の第1回小野江小学校学校運営協議会が開催され、学校経営方針等についてご協議いただきました。本年度の方針にある「めざす子ども像」(自分から行動できる子ども・自分らしさを発揮し、仲間とともに取り組む子ども・失敗を恐れず、挑戦し続ける子ども)は、昨年度の学校運営協議会の中で開催された「プチ熟議」でのご意見を参考にさせていただきました。重点目標としては、コミュニティ・スクールの取り組みや武四郎学習・防災教育を中心とした地域と取り組む学習活動の充実、ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」による授業づくりの研修の推進、教職員の勤務時間の削減をあげました。協議事項は全会一致で承認されました。本年度の「学校教育の方針」は裏面に記載しておりますので、ご確認ください。

今年も、フッ化物洗口をはじめます！

むし歯は、子どものかかる病気の中で最も多い病気です。国や県では、むし歯予防対策として、歯みがき、甘味の適正摂取と併せフッ化物洗口を推奨しています。フッ化物洗口は、世界が認める安全で効果の高いむし歯予防です。昨年度実施していた2～5年生が6月17日から、フッ化物洗口を再開します。1年生は秋頃から保護者の皆様にご説明のうえ、スタートする予定です。

小野江小学校の子どもたちの様子は下記のホームページで紹介しています。

<https://www12.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=c20200063>

「小野江小」を検索！スマホなら右のQRコードを読み取ってアクセス！



令和4年度 学校経営の方針

松阪市立小野江小学校

I 学校教育目標

学校教育目標

主体 協働 追究 ～小野江の「つよく やさしく ひろい心」が育ち合う～

めざす子ども像

主体 自分から行動できる子ども
協働 自分らしさを発揮し、仲間とともに取り組む子ども
追究 失敗を恐れず、挑戦し続ける子ども

めざす教職員像「伸ばす」

主体 自分の課題として取り組む教職員
協働 協力し、助け合い、育ち合う教職員
追究 本物をめざし、究めようとする教職員

めざす保護者像「育む」

主体 自らの課題として取り組む保護者
協働 協力し、助け合い、育ち合う保護者
追究 子どものよりよい未来を育む保護者

めざす地域像「支える」

主体 自らの課題として取り組む地域
協働 協力し、助け合い、育ち合う地域
追究 保護者と子どもをどこまでも支える地域

III 重点目標

- (1) コミュニティ・スクールの取り組みを充実し、保護者・地域との連携を強化する。
- (2) 武四郎学習・防災学習を中心として、地域とともに取り組む学習活動を充実する。
- (3) ICTを活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」による授業づくりの研修を進める。
- (4) 子どもたちの笑顔、教職員の笑顔のために、教職員の勤務時間縮減を図る。

IV 具体的な取組と目標

(1) コミュニティ・スクール

- ① 令和5年度の「小野江小学校150周年」を機運として、学校と保護者・地域がともに取り組むCS活動をいっそう推進する。
- ② 「熟議」を実施し、学校・保護者・地域が「めざす子ども像」を共有する。
- ③ ボランティアとともに、図書室活用や学校環境整備など、教育環境の充実を図る。

(2) 地域とともに取り組む学習活動

- ① 武四郎学習をカリキュラムに位置づけ、地域人材を活用して充実を図る。
- ② 防災学習を通して、災害から命を守る教育を保護者・地域と取り組む。
- ③ 地域人材を活用した授業や学習活動に取り組み、「めざす子ども像」の実現をともにめざす。

(3) 「主体的・対話的で深い学び」による授業づくり

- ① 目指す子ども像を具現化するための授業について、そのスタイルや理念などを研修会や具体的な授業参観で語り合う。全員が教室を開き、全員で参観しあう。
- ② ICTの活用について、全教員で子どもとともに学びを進めていく。
・タブレットを活用した授業づくり ・プログラミング教育
- ③ 教科担任制をスタートし、教員の負担軽減と協働化を進める。

(4) 教職員の勤務時間縮減

- ① 「かえるボード」を徹底活用し、勤務時間のマネジメントを図る。
- ② 毎週月曜日を6時退校日、月末金曜日を定時退校日とする。また、業務の状況に合わせて、その他適宜定時退校日を設ける。
- ③ 学校のビジョンを明確にし、業務内容をビジョンに沿って考えていくことで、職場の支え合える環境作り、業務内容の精選を図る。
○1人当たりの月平均時間外労働21時間 ○年360時間を超える時間外労働者数0人
○月45時間を超える時間外労働者の延べ人数0人 ○1人当たりの年間休暇取得日数22日
○設定日の定時退校職員の割合80% ○60分以内に終了した放課後開催の会議の割合65%